# Eラーニング教材の活用

-物理学——

自分のペースで学習ができます。分からないことを繰り返し聞いたり、自分が学びたい項 目だけを選んで学習することもできます。教室での講義を補完するものとして、予習・復 習に活用してください。一定の設備があれば自宅でも学習ができます。

この説明書では、「物理学」に限定して説明しますが、大学のシステムには、他にも各種の コンテンツがありますので、各人の判断でどんどん利用して下さい。

「利用ガイド2005」(情報科学研究教育センター)第7章も参照下さい

#### 利用するには何が必要ですか

- 工学院大学の学生であれば、どなたも利用できます。ID とパスワードが必要ですが、 これは、大学の情報科学研究教育センター(以下「センター」と記します)の演習室な どの設備や電子メールシステムを利用するときのものと同一です。
- 画面での表示と共に音声の説明があります。このため、イヤホンあるいはヘッドホンが 必要です。センター演習室で使用する場合、センターの受付で貸し出して おりますが、できるだけ、自分のものを使って下さい。イヤホンのプラグ は3.5mm径ミニプラグ(右図のような普通のプラグ)である必要があ ります。プラグを演習室のパソコンの本体前面の(Ωマークの)ジャック に差込みます。
- 自宅のパソコンがインターネットに接続していれば、そこでも利用できます。ただし、 OSはWindows, ブラウザはInternet Explorer である必要があります。Mac や Unix マシンでは閲覧できませんし、他のブラウザでは表示が乱れることがあります。

## どうやると利用できますか

- センターの演習室では、パソコンを起動した後、デスクトップ上の 「e-Learning」のアイコン(右図)をダブルクリックします。(前項のイ ヤホンの接続をして下さい。)
- 自宅などでは、以下のURLに接続します。(接続すると「セキュリティの警告」とい うメッセージボックスが出る場合がありますが、[はい]、[OK]を選んで下さい。)音 声を聞くため、スピーカをONにするか、ヘッドホンの接続が必要です。

https://inavi.ns.kogakuin.ac.jp/coursenavig/service

いずれの場合でも、次のページに示すログイン画面となります。





## ステップー 1

皆さんが使う E ラーニングの管理システムは CourseNavig と呼ばれます。以下に示すのが CourseNavig のログイン画面です。ここで、[ログイン]のボタンをクリックします。 するとパスワード入力画面となるので、ID とパスワードを入力して下さい。



# ステップー 2

以下の CourseNavig のトップ画面となります。

(はじめての場合)最初に使うときは上部メニューの「オンライン学習申し込み」をクリ ックして、学習する科目を選択する必要があります。この操作は、この資料の4ページに 説明してありますので、そちらを見て下さい。

(2回目以降)既に学習申し込みが終わっている場合は [講義] をクリックして,次のス テップに進みます。

講義 オンラ	イン学習申込	
🗿 Campusmate/CourseNavig ボータル - Microsoft	Internet Explorer	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気 <mark>(</mark> 入り( <u>A</u> ) ツール(T)	ヘルプ( <u>H</u> )	
😋 戻る 🗸 🕥 - 💌 🗟 🕜 🔎 検索 ☆	aquelo 🚱 🔗 🌺 🗹 • 🗾 🥸	
アドレス(D) 🕘 https://inavi.ns.kogakuinac.jp/coursenavig/ser	vice	🔽 🛃 移動 リンク 🎽 📆 🗸 🚽
Campusmate/CourseNavig	利用者 : 加藤潔	
Welcome 講義 オンライ	ン学習申込 資料参照	
お知らせ リンク集		
お知らせ一覧		<u>ヘルプ</u>
講義名: 検索		
バスワード有効期限	変更 前向ログイン日時 2006/	/02/16 12:52

## ステップー 3

[講義]をクリックすると,自分が学習している E ラーニングの科目が一覧表示されます。 受講講義一覧の画面となる

ここでは、「物理学」をクリックして選択します。すると更に次の画面となります。 授業情報の画面となる

そこで、もう一度「物理学」をクリックします。

その後では,目次が表示される場合と,特定のコンテンツが表示される場合があります。 目次が表示されない場合は,画面上部の[目次]ボタンをクリックしてください。そして 表示される一覧から,自分の学習したいコンテンツを選択します。

🚰 https://inavi.ns.kogakuin.ac.jp - Internet Navigware 学習 - Microsoft Internet Explorer 🔹 🔲 🔲 🗙											
物理学						エ学 オ	肉	26%	INTERNE	t Naviqu	/ARE
							A		לעשקבע	マルフ	よくある
		ク (答 ヒント	- 正解	解説		でした。	印刷	経了	設定	しおり追加 しおり追加	
			12.131	121 000	quin	Lac. Pro-					
							進捗	率	完了日		
<b>(</b> )	第一章	質点のフ	カ学				14		-		
	一節	力学の流	<u>観</u>				0				
	🟆 二節	等加速度	運動				10	0			
	<u>三節</u>	抵抗力					0				
	四箭	調和力					ń				

# ステップー 4

コンテンツの学習を行います。

- ▶ ボタンをクリックすると、画面の動きにあわせて音声の説明が流れます。
- 1ページごとに再生は停止します。画面を見て考えたり、メモをとったりしてください。次のページに進むときは PLAY ボタンを使います。
- 「ページ選択」で、そのコンテンツの中の学習したいページに直接飛ぶことができます。一覧画面で、飛びたい画面をクリックして下さい。
- あまりありませんが、一部のページには「詳細説明」がついている場合もあります。 やや高度な内容や、補足説明があります。
- ▶ 閲覧を終了するときは、次のページに説明してある手順をとって下さい。

- 第1章 質点の力学 1節~7節
- 第2章 力学の保存量 1節~4節
- 第3章 剛体の力学 1節~4節
- 第4章 熱力学 1節~8節
- 第5章 電磁気学 1節~7節

コンテンツは今後も順次増やしていく予定です。なお、5章の電磁気学はまだ全部できておらず8節以降の作成を予定しています。

<sup>2006</sup>年4月の時点では、利用できるコンテンツは以下の通りです。1つの節が1つのコンテンツに対応します。1章から3章が物理学Ⅰの、4章から5章が物理学Ⅱの学習に対応します。ただし、講義の学習内容の全部をカバーしているわけではありません。

終了するとき

学習を終了するとき、いきなり、ブラウザを閉じてはいけません。

あるコンテンツを学習して、終了する場合でも、次に進む場合でも、必ず「次へ」

ボタンを押して下さい。さらに、終了するときは、画面に終了ボタン 🌇 、学習終了ボタ

ン
、
や
出ロボタン
い
がある画面では、順次それらをクリックして、最初のステッ プー1の CourseNavig のログイン画面まで戻ります。そこまで戻ったら、ブラウザを閉じ ることができます。この手順を踏まないと、学習の進捗率の数字が誤った値となったり、 終了後の再ログインができないという不都合が生じます。

### オンライン学習申し込みについて

この項は,ステップ-2のつづきです。「オンライン学習申し込み」をクリックした場合の 解説です。

[1] まず,注意していただきたいことは,この科目選択のメニューには多数の「物理学」の 項目があるということです。

- ◆ 担当の物理の先生から指示のあった学生
  - → 「物理学 I」あるいは「物理学 II」で, **曜日, 期, 教員名**の3項目が自分の受講しているクラスを表すものを探し, それを選択します。
- ◆ 一般の学生,該当するクラスのない学生
  - → 「物理学(自己学習)」を選択します。

[2] 科目選択のメニューの表は多数のページから出来ています。表の上あるいは下にある
 ←1 2 3... → の矢印マークをクリックしてページを選びなさい。

特に,「物理学(自己学習)」は通常最後のほうのページにあるので,順次ページを送って 探して下さい。

[3] 自分の学習したい科目を見つけたら、左端の □ 欄をクリックして ▼ とします。(物理学以外に学習したい科目があれば、それも ▼ してください。)

4 表のすぐ上にある [オンライン学習ボタン申込] ボタンをクリックします。

オンライン学習申込確認画面 になります

[OK] をクリックします。さらに、再度確認を求められ、やはり [OK] と答えます。 5 以上で申し込みの操作は完了です。あとは、CourseNavig の上部メニューで [講義] を選び、ステップ-3に移って下さい。

この文書で紹介した「物理学」以外に、物理系のコンテンツとしては、岡村先生作成のホームページ (http://www.ns.kogakuin.ac.jp/~ft92043/kougi/phys/index.html)、学習支援センター作成のコンテン ツ「単振動」があります。また物理系の教員が個別に作成している資料もあります。